

# 平成20年度 都城市財務書類4表(普通会計)の概要

(数値の単位はすべて億円)

**「貸借対照表」とは**  
地方公共団体が保有する財産とそれ  
を取得するに当たっての財源(将来世  
代か、それとも過去及び現世代か)の  
ストック情報が示された財務書類。

## 1. 貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
1. 公共資産	2,796	1. 地方債	827
2. 投資等	181	2. その他の負債	145
3. 流動資産	97	<b>負債合計</b>	<b>972</b>
(うち歳計現金)	14	<b>純資産の部</b>	
		公共資産等整備財源	2,303
		その他一般財源 ※	△ 201
		<b>純資産合計</b>	<b>2,102</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,074</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>3,074</b>

退職手当引当金  
賞与引当金 等

- (事業用資産・インフラ資産)  
庁舎・道路・学校・総合文化ホール 等  
(売却可能資産)  
遊休資産 等
- 第三セクター等への出資金 等
- 現金預金・財政調整基金・未収金 等

**「行政コスト計算書」とは**  
当該年度に行った行政活動のうち、資産  
の形成には結びつかない行政サービス  
に係るコストを受益者負担でどれほど  
賄っているかを対比させた財務書類。

## 2. 行政コスト計算書

(期間 平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日)

経常費用の部	
1. 人にかかるコスト	128
2. 物にかかるコスト	170
3. 移転支的コスト	257
4. その他のコスト	16
<b>経常費用合計</b>	<b>571</b>
経常収益の部	
使用料・手数料 等	26
<b>純経常行政コスト (経常費用-経常収益)</b>	<b>545</b>

社会保障給付・補助金・他会  
計等への支出額 等

**「資金収支計算書」とは**  
現金の流れを示すものであり、地方  
公共団体のどのような活動に資金が  
必要とされているかを表した財務書  
類。

## 3. 資金収支計算書

(期間 平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日)

経常的収支の部		基礎的財政収支 【単位:百万円】 (プライマリーバランス)
公共資産整備収支の部	△ 24	
投資・財務的収支の部	△ 127	収入総額 67,745
当年度歳計現金増減額	3	地方債発行額 △ 5,364
期首歳計現金残高	11	財政調整基金等取崩額 △ 561
期末歳計現金残高	14	支出総額 △ 67,486
		地方債元利償還金 10,248
		財政調整基金等積立額 1,891
		<b>基礎的財政収支</b> 6,473

## 4. 純資産変動計算書

(期間 平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日)

期首純資産残高 A	2,084
純経常行政コスト	△ 545
一般財源(地方税・交付税等)	431
補助金等受入	126
その他	6
<b>増減額 B</b>	<b>18</b>
期末純資産残高 A+B	2,102

**「純資産変動計算書」とは**  
会計期間中の純資産の変動を表した財  
務書類。

期首純資産残高と期末純資産残高の差が、  
①純増の場合、将来世代に引き継ぐ財産が増えた  
か、将来世代の負担が減ったことを意味する。  
②純減の場合、蓄積してきた財産を食い潰した  
か、将来世代の負担が増えたことを意味する。

